

令和元年8月23日

美里町議会

議長 大 橋 昭太郎 殿

教育、民生常任委員会

委員長 福 田 淑 子

教育、民生常任委員会委員派遣報告書

本常任委員会は、所管事務調査を終了したので、美里町議会委員会規則第2条の規定により下記のとおり報告する。

記

1. 調査年月日 令和元年7月18日（木）から7月19日（金）
2. 調査視察地 青森県八戸市
3. 参加委員 福田淑子、柳田政喜、村松秀雄、平吹俊雄、
手島牧世、藤田洋一、前原吉宏、我妻 薫
4. 随行職員 高橋美樹
5. 調査事項 健康な身体づくり対策について

所管事務調査研修報告

「目的」

国では、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ることを目標に「21世紀における国民健康づくり運動」を展開している。

本町においても超高齢化の中で、町民すべての人が生涯を通じて健康で自立した生活が送れるよう、美里町健康増進計画「健康みさと21」を平成20年4月に策定し、取り組んできている。

そこで、「データからみたみやぎの健康 概要版」による本町の町民の状況を調査したところ、県下における健康寿命については男性78.65歳で順位は下位3位、女性84.85歳で順位は上位5位、悪性新生物による死亡については男性上位7位、女性上位12位、心疾患による死亡については男性上位3位、女性上位2位という結果になっている。

こうした状況にあり、本町の健康づくりについてなお一層対策を強化する必要がある。

青森県は、「減塩対策」に取り組み、なかでも八戸市では家庭、地域、企業、学校・教育機関、保健医療専門家等の関係機関の積極的な参加協力を得ながら、社会全体として市民一人一人の主体的な健康づくりに取り組んでいるため、研修を行った。

視察地の概況と取組状況及び意見は下記のとおりである。

1. 青森県八戸市の概況

太平洋に臨む青森県の南東部に位置し、優れた漁港施設や背後施設を有する全国屈指の水産都市であり、北東北随一の工業都市である。

面積は305.56km²で、人口は228,622人である。

2. 取組状況

平成25年7月に八戸市健康推進計画「第2次健康はちのへ21」を策定し、生活習慣病の予防等を重視した各種施策を展開してきたが、計画策定から5年経過したことから、生活習慣改善等のための目標値や市民チャレンジ目標等の中間評価を行い、改訂版を策定し取り組んでいる。

「健康づくり対策」についての取組は次のとおりである。

①減塩の取組

食生活改善推進員とともに「健康寿命アップキャンペーン」を年1回開催し、「だし活用」について普及している。

また、「すくすく離乳食教室」「味噌汁の塩分チェック」「もぐもぐ幼児食教室」「おやこ教室」「健康教室・食生活改善のための教室」などを開催し、減塩の取組を行っている。

②うみねこ体操の普及

「八戸の健康守り隊」は八戸市保健推進員の中から構成され、「第2次健康はちのへ21」の普及に取り組むことを目的に、平成26年度設立され活動している。

活動内容は、健康運動指導士から指導を受けながら、ロコモティブシンドロームの予防としてDVD化し、新・八戸市民の歌「新しい風」のメロディーに合わせて、「誰でも簡単に」「無理なく効果的に」実施できる体操の普及に努めている。

③糖尿病予防活動

紙芝居・リーフレットを活用した地区健康教室での啓発、糖尿病予防月間に予防合言葉を広報紙に掲載している。

④市庁舎内「階段を利用しようキャンペーン」

庁舎内の階段に「始めよう！コツコツ貯筋習慣」「あなたの間食何Kカロリー？」などのステッカーを貼り付け、意識向上を図っている。

また、SNSなどを活用し企業でも取り入れてもらえるよう情報発信している。

⑤健康フェスタの取組

平成4年度から「八戸市健康まつり」を環境展と共同開催し、市主催では最大規模のイベントとして長年市民に親しまれている。

「医師会」「歯科医師会」「薬剤師会」など多くの団体から協力を受け、開催している。

⑥各家庭に「わが家の健康カレンダー」を配布

月ごとの日付の欄に、特定健診やがん検診の会場、また、資源回収については種類が記載され、日ごとに何があるのか一目でわかるようになっている。

母子保健事業、健康教室・健康相談等、予防接種などについては別ページに内容、日時場所、持ち物、日程などが掲載されている。

3. 意見

①健康まつりの開催について

市と医師会や薬剤師会、また、各団体の参加で開催されており、健康に対する意識を向上させる取組として意義あるものである。

本町においても取組の検討が必要である。

②減塩の取組について

「だし活用」の普及

食生活改善推進員、保健推進員が、乳幼児健診や地域に出向くなど、普及活動に力を入れている。

健康づくりへの推進活動として、本町の推進員活動の見直しが必要である。

③健康カレンダーの配布について

日ごとに健康健診や検診の内容、また、資源回収については種類などが記載され、その日に何があるのか一目でわかるようになっている。

健康維持の取組、健康に対する意識改革として、作成・配布の検討が必要である。